

「神戸市との連携・協力の取組に関する基本協定」取組実績と今後の計画等（項目別一覧）

令和6年3月31日

1-1 これまでの取組実績と今後の計画

項目（当初の柱立て）	担当課・室	事業名	事業テーマ及び事業概要	令和5年度の実施計画（R6.3月末まで）	令和5年度の実績（R6.3月末まで）	令和6年度以降の計画（予定）
				※計画したが実施できなかった取組については実施計画のみ記載する。 ※3月末までに実施予定のものは、その分も記載する。		
1 みながつなぐモノとひとによるにぎわいの創出 ○カーフェリー利用促進PR ○混載による輸送コストの削減などの検討 ○フィーダー輸送やフェリー輸送の活用 ○みなどで結ぶ児童生徒の交流の継続 ○イベント情報の交換、ブース出店の実施 ○ものづくり企業の交流 ○多様な交通網の開設検討に向けた連携	大阪事務所	大田市（神戸市サンパチーム招聘）	神戸まつり等で活躍している神戸市民で構成されたサンパチームを、県内のイベントに招へいすることで、相互の人の交流を活性化を図る。	10月開催予定の大田市に神戸市のサンパチームを招へい	フェリーろっこう就航1周年にあわせ、10月開催の大田市に神戸市のサンパチームを招へいし、交流を図った。	予算の状況に応じて判断
	総合政策課	青少年交流事業	本県及び神戸市の生徒がカーフェリーを利用して双方に訪問し交流することで、カーフェリー利用促進をPRするとともに、相互の人の交流の活性化を図る。	新型コロナウイルスの状況及び予算の状況に応じて判断	11月に国富町の小学校の児童（約80名）が神戸市を訪問し、神戸市立魚崎小学校の子供達と神戸の歴史や文化、自然に触れる交流を実施。	神戸市の児童が本県を訪れ、国富町の児童と交流を実施。
	大阪事務所	神戸まつり	神戸市最大級の祭りである「神戸まつり」において、就航都市である宮崎市と連携してブース出展を実施する。	5月開催予定の神戸まつりに出展し宮崎カーフェリーや宮崎市と連携した本県PRを行う	5月開催の神戸まつりに出展し、宮崎カーフェリーや宮崎市と連携した本県PR運営を行った。	4月21日に神戸まつりが開催決定したため、宮崎カーフェリーや宮崎市と連携してブース出展を行う。
	大阪事務所	神戸ルミナリエ	神戸ルミナリエ会場において、就航都市である宮崎市と連携してブース出展する。	1月開催予定の神戸ルミナリエに出展する宮崎市ブースでの本県PR・サポート	1月開催の神戸ルミナリエに出展する宮崎市ブースでの本県PR・サポートを実施した	宮崎市と連携してブース出展を行う。
	大阪事務所	三宮コレクション	神戸市の三宮センター街で行われる三宮コレクションへ出展し本県及び宮崎カーフェリーのPRを行う。	3月開催予定の神戸市の三宮センター街で行われる三宮コレクションへ出展し本県及び宮崎カーフェリーのPRを行う。	令和6年3月23～24日に三宮コレクションに出展し本県の観光物産及び宮崎カーフェリーのPRを実施した。	予算の状況に応じて判断
	大阪事務所	神戸新聞広告	宮崎カーフェリーの利用促進及び新造船就航1周年のPRを行う。	神戸新聞朝刊に半5段カラーの広告を掲載する。		〃
	大阪事務所	フェリーたかほ就航1周年イベント	フェリーたかほ就航1周年にあわせて神戸でイベントを実施する。	フェリーたかほ就航1周年にあわせて神戸でイベントを宮崎カーフェリーと連携して実施する。	フェリーたかほ就航1周年にあわせて神戸でイベントを宮崎カーフェリーと連携して実施した。	-
	大阪事務所	フェリーろっこう就航1周年イベント	フェリーろっこう就航1周年にあわせて神戸でイベントを実施する。	フェリーろっこう就航1周年にあわせて神戸でイベントを宮崎カーフェリーと連携して実施する。	フェリーろっこう就航1周年にあわせて神戸でイベントを宮崎カーフェリーと連携して実施した。	-
	大阪事務所	高鍋農業高校の神戸視察	フェリーろっこう就航1周年イベントに合わせて来神する高鍋農業高校の神戸農業施設視察の調整を行う。	フェリーろっこう就航1周年イベントに合わせて来神する高鍋農業高校の神戸農業施設視察の調整を神戸市と連携して行う。	フェリーろっこう就航1周年イベントに合わせて来神した高鍋農業高校の神戸農業施設視察の調整を神戸市と連携して行った。	-
	大阪事務所	メディア等を活用した関西圏観光プロモーション	宮崎カーフェリーを活用した観光をWebメディアで情報発信する。	関西のWebメディアで、宮崎カーフェリーを活用した観光を情報発信する。	京阪神エルマガジン社に、宮崎カーフェリーを活用した観光を体験してもらいWebメディアで情報発信した。	〃
	総合交通課	長距離フェリー航路利用促進PR	イベント等を通じたフェリーのPRを実施して長距離フェリー航路の利用促進を図る。	・4月及び10月、新船就航1周年記念イベントを宮崎・神戸において開催。 ・4月、花時計ギャラリーでのフェリーポスター掲示 ・5月、神戸まつりにてフェリーPR	・4月15日 フェリーたかほ就航1周年記念イベントをイオンモール宮崎にて、「神戸」をテーマに開催。神戸観光局、神戸市港湾局とも連携し、神戸JAZZバンドやスマイル神戸の招へい、パン、コーヒー等の物販等を実施し、神戸航路とフェリーのPRを行った。 ・5月27日 神戸まつりにおいて、大阪事務所・宮崎カーフェリー等と連携しPRを実施。 ・フェリーろっこう就航1周年記念イベントとして、10月7日に神戸ハーバーランドumieにて、10月14～15日イオンモール宮崎にて、相互の観光や物産及びフェリー航路のPRを実施した。 ・10月28日、宮崎市街地で開催された大田市において、神戸観光局及び神戸市港湾局と連携しフェリー及び神戸のPRブースを設け、神戸の日本酒と宮崎焼酎の試飲などPRを実施。（併せて県大阪事務所にてサンパチームの招へい）	・4月、花時計ギャラリーでのフェリーポスター掲示 ・4月、神戸まつりにてフェリーPR ・10月 神戸航路10周年記念イベントを神戸において開催（予定）
	みやざき文化振興課	「神話の源流」みやざきのPR	「神話の源流」みやざきのPRし観光誘客を図る。	花時計ギャラリーでの「神話の源流へ。」ポスターの掲示	花時計ギャラリーでの「神話の源流へ。」ポスターの掲示（4月20日～4月26日）	・花時計ギャラリーでのポスター掲示
観光推進課	観光みやざき需要回復・再生プロジェクト	神戸市での「フェリーろっこう」就航1周年記念イベントにて観光PRを実施する。	新船就航1周年イベントにて、ブース出展を行い、本県観光PRを実施する。	宮崎県観光協会がブース出展を行い、本県観光PRを実施した。	・神戸港移転10周年等を契機とした催事等で連携した観光プロモーションを行う。	
2 農畜産物など地域資源を活かした産業の活性化 ○商店街の空き店舗を利用したブース出店等によるPR事業 ○宮崎産農産物の神戸市中央卸売市場及び市内直売所へのさらなる供給 ○相互の事業スキームを活用した商品開発や6次産業化等に関するノウハウの共有	大阪事務所	食品会社との商品開発（ケンミン食品株式会社との商品開発）	本県のブランド品目の認知度向上を目的とした事業で、みやざき地頭鶏をメインにした商品開発を支援する。	ケンミン食品株式会社と共同で、みやざき地頭鶏を中心とした宮崎産品を使用した商品を開発する。県は開発・製造の支援を行う。	・令和6年2月10日に、「宮崎ケンミン焼ビーフン」のリニューアル販売を開始し、神戸の飲食店、宮崎のスーパーにてフェアを実施。また、3月以降新たにコープこうべでの共同購入を開始。 ・昨年販売を開始した、みやざき地頭鶏をスーパーのベースにしたグルテンフリーラーメンの継続販売。	みやざき地頭鶏の原料供給やプロモーションに関する部分での支援。
	大阪事務所	ホテルでの宮崎フェア（神戸ベイシェラトンレストランフェアおよびシェラトンマルシェ出展）	神戸市のホテル内レストランにおいて、宮崎食材フェアをすることで、神戸市で本県産食材のPRを実施する。また、ホテル内マルシェにおいて県産の農産物や加工品の販売によるPRを実施する。	・神戸ベイシェラトンにおいて宮崎食材を使用したレストランフェアを開催。 ・神戸ベイシェラトン内のマルシェ特産品コーナーにて宮崎産のPRを実施。	・神戸ベイシェラトンにおいて宮崎を含む九州各県の食材を使用したレストランフェアを開催し食材のPRを実施。（令和6年3月1日～5月7日）日向夏、みやざきブランドポーク、黄金いくらが使用された。 ・神戸ベイシェラトン内のマルシェの特産品コーナーにて宮崎産の加工品販売。（令和6年3月1日～5月7日）	・宮崎単独のレストランイベント実施。 ・宮崎特産品コーナー常設。
3 防災等に関する相互連携による安全・安心な地域づくり ○自然災害への備えに関するノウハウの共有 ○災害復旧・復興に関するノウハウの共有	危機管理課	実績無し				

1-2 上記1-1以外の項目の取組実績と今後の計画（神戸市関連の取組として位置付け可能なもの）

項目（当初の柱立て）	担当課・室	事業名	事業テーマ及び事業概要	令和5年度の実施計画（R6.3月末まで）	令和5年度の実績（R6.3月末まで）	令和6年度以降の計画（予定）
				※計画したが実施できなかった取組については実施計画のみ記載する。 ※3月末までに実施予定のものは、その分も記載する。		

2 新規の取組として実施予定、または、取組を検討しているもの

項目	担当課・室	事業名	事業テーマ及び事業概要	備考